



ファームウェアバージョン :	R3.00.B568	
ハードウェアバージョン :	DGS-3120-24TC	B1
	DGS-3120-48TC	
	DGS-3120-24PC	
	DGS-3120-48PC	
	DGS-3120-24SC	
	DGS-3120-24SC-DC	
発行日 :	2017/8/1	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次 :

システム要件 :	2
アップグレード手順 :	2
アップグレードの流れ.....	3
CLI (シリアルポート) を使用するアップグレード	4
追加機能 :	10
MIB の変更点 :	10
コマンドラインインタフェースの変更点 :	10
修正した問題点 :	10
既知の問題 :	10

システム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
ランタイム：R3.00.B568	2017/8/1	DGS-3120-24TC	B1
		DGS-3120-48TC	
		DGS-3120-24PC	
		DGS-3120-48PC	
		DGS-3120-24SC	
		DGS-3120-24SC-DC	

アップグレード手順：

アップグレードを行うには、[CLI\(シリアルポート\)](#)を使用してファームウェアのアップデートを行うことができます。

本アップグレードには、必ずシリアルコンソールでの CLI をご使用ください。

重要：本製品の EI 版をお使いのお客様は、ファームウェアアップグレードを行う前に、必ずお使いの機器のシリアルと MAC アドレスをディーリンクジャパンに連絡し（弊社 WEB ページからの問い合わせ[サポート> 各種お問い合わせ]、もしくは弊社営業へ連絡）、アクティベーションコードを受領してください。筐体のラベルもしくは、show switch コマンドでシリアルと MAC アドレスを確認可能です。

<show switch コマンド出力例>

DGS-3120-24TC:admin#sh switch

Command: show switch

Device Type : DGS-3120-24TC Gigabit Ethernet Switch

Unit ID : 2

MAC Address : AC-F1-DF-C1-38-98

IP Address : 10.90.90.90 (Manual)

VLAN Name : default

Subnet Mask : 255.0.0.0

Default Gateway : 0.0.0.0

Boot PROM Version : Build 3.00.501

Firmware Version : Build 3.00.B556

Hardware Version : B1

Firmware Type : EI

Serial Number : PVTI3D4000005

System Name :

System Location :

スタック構成の場合は、show stack_information および show stack_device コマンドを使用して確認可能です。

<show stack_information コマンド出力例>

DGS-3120-24TC:admin#show stack_information

Command: show stack_information

Topology : Duplex_Chain
 My Box ID : 1
 Master ID : 1
 Box Count : 1

Force Master Role : Disabled
 Trap State : Enabled
 Log State : Enabled

Box User ID	Set	Type	Prio-Exist	MAC	Prom version	Runtime version	H/W version
1	Auto	DGS-3120-24TC	Exist 32	D8-FE-E3-89-0E-C0	3.00.501	3.00.B556	B1
2	Auto	DGS-3120-24TC	Exist 32	D8-FE-E3-8C-F7-A0	3.00.501	3.00.B556	B1
3	-	NOT_EXIST	No				
4	-	NOT_EXIST	No				
5	-	NOT_EXIST	No				
6	-	NOT_EXIST	No				

<show stack_device コマンド出力例>
 DGS-3120-24TC:admin#show stack_device
 Command: show stack_device

Box ID	Box Type	H/W Version	Serial Number
1	DGS-3120-24TC	B1	PVTI3D7000096
2	DGS-3120-24TC	B1	PVTI3D7000295

物理スタックをお使いのお客様は、ファームウェアアップグレードを行う前に、スタックケーブルを一旦抜線してからアップグレードする必要がありますので、ご注意ください。

アップグレードの流れ

1. スイッチ本体に保存している各種ファイルのバックアップを実施します。(保存が必要な場合のみ実施してください)
2. スタックを解除します。(スタック構成をお使いの場合のみ実施してください)
3. R3.00.T569 の適用およびスイッチのリブートを実施します。
4. R3.00.B568 の適用およびスイッチのリブートを実施します。
5. アクティベーションコードのインストールおよびスイッチのリブートを実施します。(EI 版をお使いの場合のみ実施してください)
6. スタックを戻します。(スタック構成をお使いの場合のみ実施してください)

※詳細は以下をご確認ください。

CLI (シリアルポート) を使用するアップグレード

【事前準備】

1. PC 上で TFTP サーバを有効にします。
(必ず TFTP サーバをご使用の PC にインストールを行っておいてください。)

2. スイッチの電源を切り、RS-232 シリアルポート（コンソールポート）で PC と接続し、ターミナルソフトウェアを起動します。ターミナルソフトウェアの設定は下記の通りです。（本手順書ではターミナルソフトウェアは Tera Term を使用しています。）

- ボーレート : **115200**
- データビット : **8**
- パリティ : **none**
- ストップビット : **1**
- フロー制御 : **none**

3. VT-100 のエミュレーションが可能な端末エミュレーションプログラムが起動していて、かつシリアルポートに上記設定を施した PC と、本スイッチのシリアルポートを RJ-45 シリアルケーブルで接続します。
4. 接続が正常に行われると、ユーザ名とパスワードの入力を求められます。

※管理者のユーザ名及びパスワードは、初期状態では登録されていません。
何も入力せずに「enter」キーを 2 回押し、ログインします。

5. ログイン後、下記コマンドを使用し、ファームウェアのアップデートを行います。

注意 : 最初に R3.00.T569 の適用およびスイッチのリブートを実施し、その後、R3.00.B568 の適用およびスイッチのリブートを実施します。

・バックアップに使用するコマンド

コマンド	説明
save log	ログを保存します。
upload log_toTFTP <ipaddr> dest_file <pathname>	TFTP サーバにログをアップロードします。
upload cfg_toTFTP <ipaddr> dest_file <pathname>	TFTP サーバにコンフィグをアップロードします。
upload firmware_toTFTP <ipaddr> dest_file <pathname>	TFTP サーバにファームウェアをアップロードします。

・アップグレードに使用するコマンド

コマンド	説明
download [firmware_fromTFTP <ipaddr>	スイッチにファームウェアをダウンロードして、

<ipv6addr>] src_file <path_filename 64> {unit<unit_id> all} dest_file <pathname> boot_up	Boot up イメージファイルに指定します。
Dir {{unit<unit_id>} <drive_id>} {<pathname>}	現在のブートイメージと設定ファイル名を表示します。
save	設定を保存します。
reboot	スイッチをリブートします。
install dlms activation_code <activation_code>	アクティベーションコードをインストールします。(EI版のみ)
show switch	スイッチの情報を表示します。
erase {{unit <unit_id>} <drive_id>} <pathname>	ファイルシステムに保存されたファイルを削除します。

※ CLI コマンドの詳細は CLI マニュアルを参照下さい。

以下の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

【アップグレード手順】

1. 設定を保存します。

DGS-3120-24TC:admin#save

Command: save

Saving all configurations to NV-RAM..... Done.

2. 本製品に保存されている各種ファイルについて、TFTPサーバへのバックアップを行います。

例：

① ログのバックアップ（ログファイルはスイッチへリストアすることはできません）

DGS-3120-24TC:admin#save log

Command: save log

Saving all system logs to NV-RAM..... Done.

DGS-3120-24TC:admin#upload log_toTFTP 10.90.90.100 dest_file DGS-3120backuplog

Command: upload log_toTFTP 10.90.90.100 dest_file DGS-3120backuplog

Connecting to server..... Done.

Upload log..... Done.

② コンフィグのバックアップ

DGS-3120-24TC:admin#upload cfg_toTFTP 10.90.90.100 dest_file DGS-3120backupconfig

Command: upload cfg_toTFTP 10.90.90.100 dest_file DGS-3120backupconfig

Connecting to server..... Done.

Upload configuration..... Done.

③ ファームウェアのバックアップ

DGS-3120-24TC:admin#upload firmware_toTFTP 10.90.90.100 dest_file runtime.had

Command: upload firmware_toTFTP 10.90.90.100 dest_file runtime.had

Connecting to server..... Done.

Upload firmware..... Done.

注意：本ファームウェアへのアップグレード後、メモリ内に保存されている現状使用中のコンフィグ以外のファイルはクリアされます。現状使用中のコンフィグはファームウェアアップグレード後も引き継がれますが、現状使用中のコンフィグも念のためバックアップしておくことをお勧めします。コンフィグがすでにPCなどにバックアップされており、そのほかに保存しておきたいファイルがない場合は、本項番の作業は不要です。

3. スタックをしている場合は、スタックケーブルおよび筐体跨ぎのLAGなど筐体をまたいで冗長する機能を有効にしているポートのケーブルを抜線してください。（スタックを使用していない場合は、本項番の作業は不要です）

4. ファームウェアを本製品にダウンロードし、ブートアップ時に使用するファイルとして設定します。（スタック構成の場合、スタック解除後の各機器で実施します。）

※R3.00.B568を適用する前に、R3.00.T569を適用します。

DGS-3120-24TC:admin#download firmware_fromTFTP 10.90.90.100 src_file DGS3120BX_Run_3_00_T569.had

dest_file DGS3120BX_Run_3_00_T569.had boot_up

Command: download firmware_fromTFTP 10.90.90.100 src_file DGS3120BX_Run_3_00_T569.had dest_file

DGS3120BX_Run_3_00_T569.had boot_up

Connecting to server..... Done.

Download firmware..... Done. Do not power off!

Please wait, programming flash..... Done.

5. ダウンロードしたファイルが、ブートアップ時に起動するファイルとして正常に設定されていることを確認します。（スタック構成の場合、スタック解除後の各機器で実施します。）

DGS-3120-24TC:admin#dir

Command: dir

Directory of /c:

Idx	Info	Attr	Size	Update Time	Name
1	RUN(*)	-rw-	7909752	2016/11/11 14:36:22	DGS3120BX_Run_3_00_T569.had
2	RUN	-rw-	7909752	2016/11/10 22:14:31	runtime.had
3	RUN(b)	-rw-	7905968	2016/11/11 14:23:44	DGS3120BX_Run_3_00_B561.had
4	CFG(*)	-rw-	50782	2016/11/11 14:26:14	config.cfg
5		d---	0	2016/11/11 14:26:49	system

29869 KB total (14255 KB free)

(*) -with boot up info (b) -with backup info

6. 設定を保存します。（スタック構成の場合、スタック解除後の各機器で実施します。）

DGS-3120-24TC:admin#save

Command: save

Saving all configurations to NV-RAM..... Done.

7. スイッチをリブートします。（スタック構成の場合、スタック解除後の各機器で実施します。）

DGS-3120-24TC: admin#reboot

Are you sure you want to proceed with the system reboot?(y/n) y

Please wait, the switch is rebooting...

注意：スイッチの起動には数分もしくはそれ以上の時間がかかる場合があります。スイッチの再起動中に、絶対に電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

8. 再起動完了後に「Press any key to login...」と表示されるので、再度ログインします。（スタック構成の場合、スタック解除後の各機器で実施します。）

注意：EI 版をお使いの場合は、R3.00.B568 で起動した後、手順 12 が完了するまで、絶対に設定を保存(save) しないでください。

9. R3.00.T569の適用が完了した後、同じ手順（「手順4」～「手順8」）を繰り返し、R3.00.B568を適用します。（スタック構成の場合、スタック解除後の各機器で実施します。）

- 10. EI版のアクティベーションコードをインストールします。（スタック構成の場合、スタック解除後の各機器で実施します。SI版をご使用の場合、本項番の作業は不要です）**

DGS-3120-24TC:admin#install dlms activation_code xxxxxxxxxxxx(25桁)

Command: install dlms activation_code xxxxxxxxxxxx(25桁)

Success.

Please reboot the device to active the license.

- 11. スイッチをリブートします。スタックを使用している場合、各機器で実施します。（スタック構成の場合、スタック解除後の各機器で実施します。SI版をご使用の場合、本項番の作業は不要です）**

DGS-3120-24TC: admin#reboot

Are you sure you want to proceed with the system reboot?(y/n) y

Please wait, the switch is rebooting...

注意：スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。

再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

- 12. 再起動完了後に「Press any key to login...」と表示されるので、再度ログインします。（スタック構成の場合、スタック解除後の各機器で実施します。SI版をご使用の場合、本項番の作業は不要です）**

- 13. ファームウェアバージョンを確認します。（スタック構成の場合、スタック解除後の各機器で実施します。）**

DGS-3120-24TC:admin#sh switch

Command: show switch

Device Type : DGS-3120-24TC Gigabit Ethernet Switch

Unit ID : 2

MAC Address : AC-F1-DF-C1-38-98

IP Address : 10.90.90.90 (Manual)

VLAN Name : default

Subnet Mask : 255.0.0.0

Default Gateway : 0.0.0.0

Boot PROM Version : Build 3.00.501

Firmware Version : Build 3.00.B568

Hardware Version : B1

Firmware Type	: EI
Serial Number	: PVTI3D4000005
System Name	:
System Location	:
System Uptime	: 0 days, 0 hours, 1 minutes, 16 seconds
System Contact	:
Spanning Tree	: Disabled
GVRP	: Disabled
IGMP Snooping	: Disabled
MLD Snooping	: Disabled
VLAN Trunk	: Disabled

14. スタックをしている場合は、スタックケーブル等、手順3で抜線したケーブルを戻し、スタックやLAG等の機能が復旧していることを確認してください。（スタックを使用していない場合は、本項番の作業は不要です）

15. 最初に適用したR3.00.T569（runtime.had）のファイルを削除します。

DGS-3120-24TC:admin#erase c: runtime.had
Command: erase c: runtime.had

Success.

※スタック構成の場合、次のようにユニットIDを指定し、各機器のファイルを削除してください。

DGS-3120-24TC:admin#erase unit 1 c: runtime.had
Command: erase unit 1 c: runtime.had

Success.

注意：ファームアップ完了後、コンフィグが引き継がれていることをご確認ください。

追加機能：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R3.00.B568	1. TLS1.2 をサポート致しました。

MIBの変更点：

ファームウェアバージョン	変更点
R3.00.B568	特になし

コマンドラインインタフェースの変更点：

ファームウェアバージョン	変更点
R3.00.B568	特になし

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R3.00.B568	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファームウェアアップグレード時に SNMP reboot コマンドを受け付ける問題を修正致しました。 2. CPU 使用率が高くなったまま下がらないことがある問題を修正致しました。 3. EI 版ライセンス機器を利用しているにも関わらず SI 版となってしまうことがある問題を修正致しました。※ 4. Box_ID が Auto に設定されている場合、ブート時に LAG が正常に動作せずループが発生することがある問題を修正致しました。 5. システム起動時にフリーズすることがある問題を修正致しました。 6. スタック構成において NLB の ARP エントリが共有されない問題を修正致しました。 7. スタック構成において NLB パケットのループが発生する問題を修正致しました。 8. DHCP Relay 機能使用時、100 Mbps 通信で高負荷となる場合に、DHCP パケットの遅延や損失が発生する問題を修正致しました。

※本問題および EI 版と SI 版との統合のため、3.00.B561 の Web ダウンロードを停止しています。
本リリースファームウェアをお使いください。

既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題
R3.00.B568	特になし